

中古車販売分野における自動車関連情報利活用の方向性

2014年9月19日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
執行役員 自動車事業本部 統括部長
室 政美



<AGENDA>

- 中古車情報メディア「カーセンサー」概要
- 中古車情報メディアビジネスの概要①②
- 提供している情報の種類、情報収集方法
- 情報開示の方向性
- 提供したいサービス概要
- 提供したい情報の種類
- データ集積イメージ
- その他の利用イメージ
- サービス展開にあたっての課題、克服方法の提案

■中古車情報メディア「カーセンサー」概要

- 1984年創刊（30周年）
- 中古車販促メディア（BtoC）
- 日本全国を網羅（沖縄除く）

＜事業ビジョン＞
 クルマとの出会いから始まる素敵なドラマを。
 ～ もっと多くの人に、もっと豊かに ～

【カーセンサーNET】



- PC、スマホ、タブレット、モバイル等すべてのデバイスに対応

【カーセンサー本誌】

＜国産＞ ＜輸入車＞



- 全17版で全国網羅

■中古車情報メディアビジネスの概要①

売りたい人(販売店)と**買**いたい人(消費者)をつなぐ
マッチングメディア

カスタマサイド
(消費者)

800万UU
2億8000万PV
(月間)

The screenshot shows the CarSensor website interface. At the top, there are navigation menus and a search bar. Below that, there are search filters for '中古車を探す' (Search for used cars) with options for 'メーカー' (Manufacturer) and '車名' (Car name). A large red circle highlights the text '成約台数 33万台 (年間)' (Number of completed transactions: 330,000 units/year). Below the circle, there are car listings with images and model names like '軽自動車', 'ハイブリッド', 'ミニバン', 'ハッチバック', and 'セダン'. On the right side, there is a 'マイページ' (My page) section with a '検索履歴' (Search history) table.

成約台数

33万台
(年間)

シェア15%

中古車小売台数約220万台
※矢野経済研究所調べ

クライアントサイド
(中古車販売業者)

35万台
(常時)

11,500社
16,000拠点

■中古車情報メディアビジネスの概要②



<事業スタンス>

- ① **カスタマーファースト**
- ② **プロの介在 (BtoC)**

安心・信頼

<業界におけるメディアの果たす役割・機能>

◆ 相場感醸成

一般ユーザーに合理的な相場観を醸成。
中古車をより身近な商品に、身近な市場に。

◆ 業界健全化・適正化

中古車販売事業者及び一般消費者への啓蒙活動と、掲載ルールの制定と徹底を通し、三大不正の解消に向けた取組をしてきた。

※三大不正：走行距離虚偽、修復歴虚偽、オトリ広告

走行距離表示必須化

修復歴表示必須化

車台番号表示必須化

■情報開示の方向性

<安心・信頼構築に向けた取組>

- 中古車は品質の判別が困難な商品
- 売り手と買い手の情報の非対称性解消

情報開示の推進

- ✓車両のハード情報は網羅できている。
- ✓車両品質を評価するスキームもある。
- ✓過去履歴情報により、情報開示はほぼゴール

<参考> 情報の進化 (30年前と現在比較)

<創刊号>

<p>ミラターボ 68.5万円</p>	<p>フロントデSK 34.5万円</p>
<p>クオーレMEX 46.5万円</p>	<p>スバル 37.8万円</p>

<現在>

<p>B-1 SUCCESS PLAN 738 車 総 139.9万円 154.1万円 CS認定 総合3.5 内訳 B 外訳 B 機能 正 修理 無 ランサー GSRエリクシオンII 4WD 禁煙車 新品ナビ ホワイト 有償保証あり 無修復車 禁煙車 新品メ モリーナビ HID キーレス 安心の総額表示!中古 車は支払総額で比べて下さい!自社整備工場、钣金塗 装工場を完備しておりますので納車後も安心です。</p>	<p>C-1 SUCCESS PLAN 008 車 総 206.9万円 225.8万円 CS認定 総合4.5 内訳 B 外訳 B 機能 正 修理 無 インプレッサ 5ドア2.5WRX STI Aライン 4WD 禁煙車 地デジ ブルーマイカ 有償保証あり 無修復車 禁煙車 H DDナビ 地デジTV 車高調 ETC 安心の総額表示! 中古車は支払総額で比べて下さい!自社整備工場、钣 金塗装工場を完備しておりますので納車後も安心です。</p>
<p>B-3 SUCCESS PLAN 901 車 総 119.9万円 134.9万円 CS認定 総合4 内訳 B 外訳 B 機能 正 修理 無 セリカ 2.0GT-FOUR 4WD 禁煙車 177.7万円 COMD</p>	<p>C-3 SUCCESS PLAN 788 車 総 176.9万円 191.2万円 CS認定 総合4 内訳 B 外訳 B 機能 正 修理 無 インプレッサ 2.5WRX STI Aライン 4WD 禁煙車 HDDナビ</p>
<p>B-4 SUCCESS PLAN 582 車 総 77.9万円 91.9万円 CS認定 総合4 内訳 B 外訳 B 機能 正 修理 無 セリカ 1.8SS-1 純E7メゾロ D107ピ アクミ</p>	<p>C-4 SUCCESS PLAN 366 車 総 84.9万円 99.4万円 CS認定 総合4 内訳 B 外訳 B 機能 正 修理 無 インプレッサ 2.0WRX 4WD 禁煙車 純E7ピ アクミ</p>

提供したいサービス概要

車両の使用履歴情報の提供（トレーシングサービス）

カーセンサーNet

山下 貴様 にご依頼車両のトレーシング結果をお知らせ致します。

■調査車両
車台番号 QZS772970-267

【基本データ】

車名	トヨタクラウンワゴン	新車時カタログ情報
グレード	ロイヤルサルーン	1987年に登場した8代目クラウンの5ドアステーションワゴンが1999年まで延々と作られていたトヨタのトップ・オブ・ワゴン。マークII同様、それなりに商品力を向上させながら秀られ続け、イメージ的には個人事業主や中小企業オーナーの社用車兼パーソナルカーとして一定の人気を得ていた。四角いボディスタイルととにかく大きく長いラゲージスペースは、ソナラに乗りこなすには用途に限られるが、乗用兼高用としてはこれ以上望めない使い勝手とユーティリティをもつワゴンであった。轟くせばバンモデルが販売の多数を占めていた。ということもなる。1998年に最後の改良を受けた。そのラインナップは2L直6搭載の5ナンバースーパーデアングス、同エンジンおよび2.4Lディーゼルターボ、2.5L直6の3ナンバーモデル。そして7人もしくは8人乗りの設定もあるルサルーンであった。横一線絶壁のインパネが時代を感じさせ盛り上がるハイループも個性的だ。
型式	AZS-1DA	
サイズ	長4690×幅1790×高1550	
カラー	ホワイトパール	
駆動形式	2WD(FR)	
燃料	無鉛プレミアム	
排気量	2500cc	
初登録	1995年10月	

生産期間 1987年9月～1999年11月
新車価格 202.5～342.2万円

中古相場: 10～240万円 中古相場表

【詳細データ】

2006年4月JUシャナド掲載写真

所有者・車両情報

所有者履歴

【オーナー履歴】
★現在は3人目のオーナーです
★①神奈川県女性 ②兵庫県男性 ③岡山県男性
【販売店履歴】
★④神奈川県販売店 ⑤岡山県販売店
【盗難情報】
★04年04月盗難

【AA履歴】
★⑥JU埼玉 評価点3.5 ⑦USS神戸 評価店R
【事故・修理情報】
★02年11月事故
フロント、右サイド破損、
修理費用38万円

外装

修復歴 有・無

特記事項 修復歴 (下記の①～⑩に当たる部分の修正及び交換歴)

修復箇所

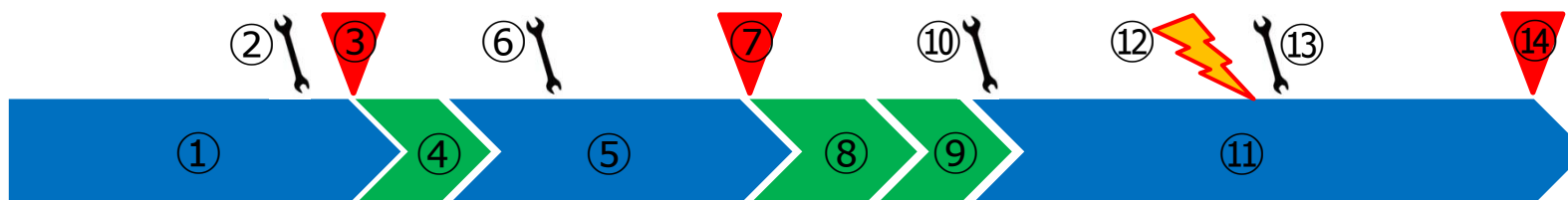
- ① フローム (サイドメンバー)
- ② クラッシュバー
- ③ フロントインフိုင်ド/パネル
- ④ ビュー (フロントセンター及びリア)
- ⑤ タンク/パネル
- ⑥ ルーフ/パネル
- ⑦ フロア/パネル
- ⑧ トランク/フロア/パネル
- ⑨ ラジエーターコア/サポート

注) 修復歴のあるクルマであっても、走行上は支障ありません。詳細は係員にお尋ね下さい。

印刷

Powered by 株式会社○○○○○

■提供したいサービス概要<所有者等履歴情報>



■初度登録 2001年2月

■オーナー履歴

①オーナー<岡山県>	2001年02月 - 2004年10月 (3年9ヶ月)
⑤オーナー<神奈川県>	2005年01月 - 2008年12月 (3年)
⑪オーナー<愛知県>	2009年08月 - 2014年09月 (5年)

■オートオークション履歴

③ J U 神奈川	2004年10月	評価4.0点	修無	28,500km
⑦ U S S 名古屋	2008年12月	評価3.5点	修無	48,000Km
⑭ J U 埼玉	2014年09月	評価R点	修有	82,000Km

■車検・整備履歴

②車検 (1回目)	2004年02月	23,500km
⑥車検 (2回目)	2006年02月	38,500km
⑩車検 (3回目)	2009年07月	56,500km
⑬車検 (4回目)	2011年07月	70,500km

■事故・修理履歴

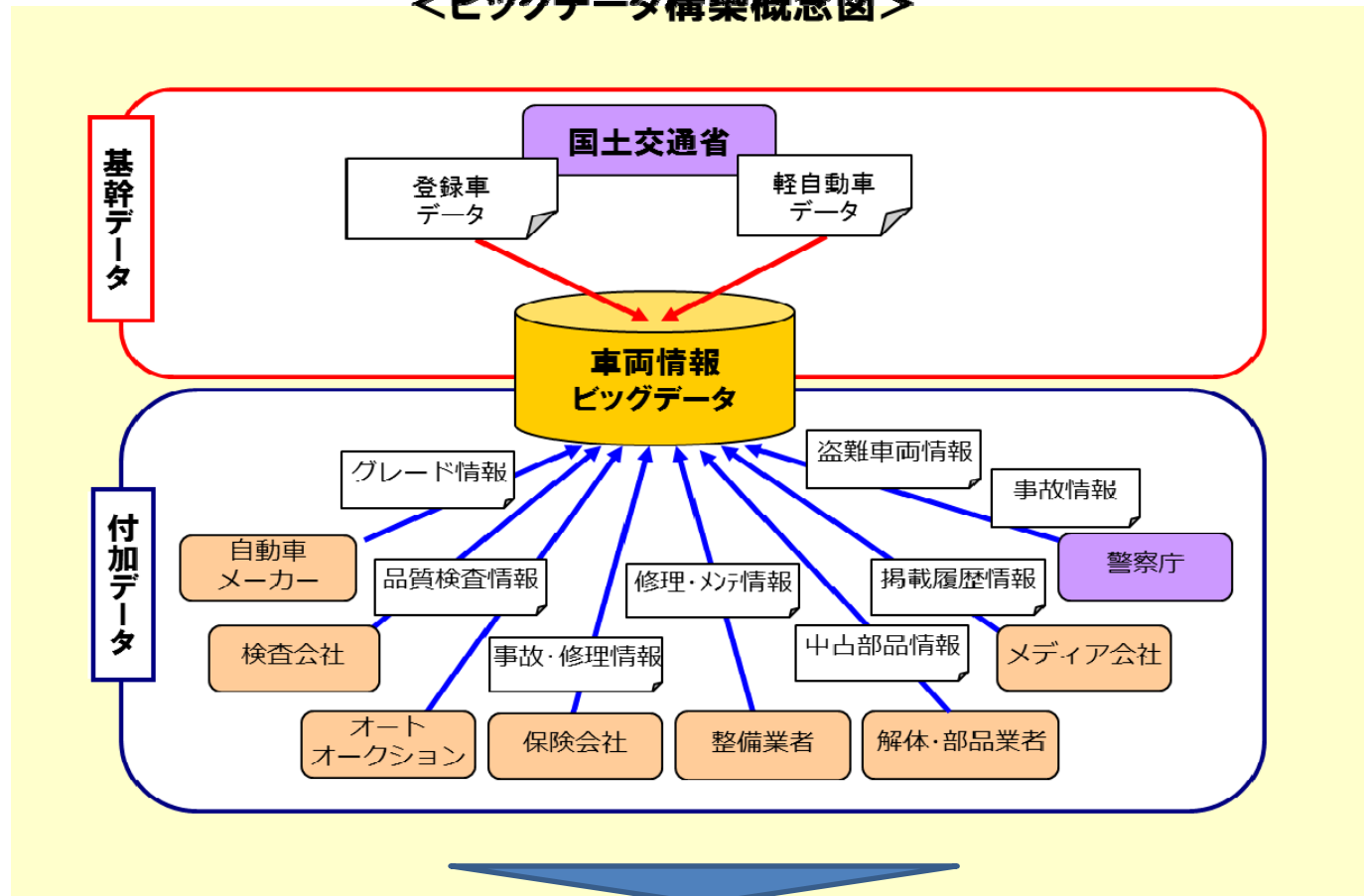
⑫事故・修理	2011年06月	左フイター交換	左ドア钣金	30万円
--------	----------	---------	-------	------

■提供したい情報の種類

区分	データ	使途	重要度	データ保有者
登録者/軽自動車検査情報	車台番号	車両特定の検索	A	国土省及び関連団体
	用途、種別、自家用・事業用別	使用用途履歴（乗用、バイク）の確認	B	
	登録の種類	車両の変更履歴の確認	A	
	登録変更日	車両の利用期間の確認	A	
	登録年月日、初度登録年月	車両の利用期間の確認	A	
	型式指定番号、各種諸言	諸元情報の確認	A	
	時点走行距離	適正走行距離の確認（巻き戻し、メーター交換対策）	A	
	所有者コード、使用者コード	業者間取引、流通経路の確認	A	
	所有者コード、所有者住所コード	使用地の確認※所有者、使用者の地域「県」情報	A	
リコール情報	リコール対象履歴	リコール対象及び対応履歴確認	A	国土省又は自動車メーカー
盗難情報	盗難車情報	盗難履歴確認	C	警察庁
事故・修理履歴情報	事故履歴、年月日	事故履歴の確認	A	損保会社
	修復内容、修理金額	修復箇所と規模の確認	B	
火災・冠水・電害情報	自然災害による修復履歴	自然災害の保険適用履歴の確認	B	
法定点検・整備履歴	作業内容/使用部品	メンテナンス、整備、修復履歴の確認	B	ディーラー/認証・指定整備工場
	作業年月日	作業日の確認	A	
	OBD情報	コンピュータ診断情報、対応履歴	B	
	時点走行距離	適正走行距離の確認（巻き戻し、メーター交換対策）	A	
AA情報	出品・落札情報	流通履歴確認	A	NAK/AA各社
	検査情報	修復履歴確認、時点状態確認	A	
	時点走行距離	適正走行距離の確認（巻き戻し、メーター交換対策）	A	
品質評価情報	時点評価	車両の状態確認	B	検査会社
カタログ情報	カタログ情報	車種、グレードを確認	B	自動車メーカー/メディア
小売情報	小売時点のスペック情報	小売時点のスペック（価格・状態等）情報の確認	B	メディア

■データ集積イメージ

<ビッグデータ構築概念図>



①情報の非対称性

- ・車両トレーシング機能
(使用履歴レポート)

②販売事業者介在価値向上

- ・統計、マーケティング機能
(小売支援レポート等)

③リユース促進

- ・中古部品流通支援機能
(パーツDB構築)

■本想定サービス実現に向けての課題

①極めて高い情報収集難易度

自動車関連情報の収集が困難。

要因は**情報提供者の提供メリット**と情報利用者との**受益アンバランス**。

②データの種類と網羅性

MOTAS等を基幹とした各種データの肉付けは**その種類と網羅性**が必須。
網羅できて初めて価値を発揮するため。

③情報取得コスト

①の受益不均衡の解消は「金」ということにならざるを得ず、最終的な**情報取得コストが高騰**する。この高（原価）コストを吸収し、利益を上げるビジネスモデルとなると、高額単価で商品化せざるを得ず、結果的に利用者が居なくなるという悪循環に陥る。



国が自動車関連情報の収集を担い、**限定的な用途に限り**情報提供するという第一ステップが有効であると思われます。

■本想定サービス実現に向けての課題

国が自動車関連情報の収集を担い、**限定的な用途に限り**情報提供するという第一ステップが有効であると思われます。

【中古車業界の発展に向けた骨太方針】

消費者による品質判断の難易度が高い商品であるため、アフターフォローの重要性と、責任所在の明確化の意味も含め、「プロ」の介在を前提としたモデルと考えます。

今回提案のトレーシングサービスは、あくまでBtoCモデルの形態を崩さず、消費者への情報開示の推進を通し、情報の非対称性を解消すべきであると考えます。

米国の先行事例によれば、トレーシングサービスと個人間売買モデルの親和性が高く、これを広く一般に開放すると、一気にCtoCモデルを加速させるリスクを内包しています。

日本におけるトレーシングサービスは、あくまで情報の取り扱い（発信者）は中古車販売事業者（B）として、十分にその環境を整備する一定期間が必要と思います。

自動車トレーサビリティ・ サービスの実現に向けた検討

第6回 自動車関連情報の利活用に関する将来ビジョン検討会
(テーマⅡ第1回)



株式会社ブロードリーフ

株式会社ブロードリーフ 企業概要

自動車アフターマーケット向け業務用システム販売、サービス収益増加により成長継続

■会社概要

事業概要： 自動車アフターマーケット（整備、钣金工場、部品商、中古車販売等）向け業務用システムの開発・販売（業界トップシェア）

自動車リサイクル部品のマーケットプレイス運営及びネットワークサービスの提供（国内最大級の在庫量）

本社： 東京都品川区

創業： 2005年

代表取締役社長： 大山 堅司

売上高： 180億円（2013年12月期）

従業員数： 821名（2013年12月末時点）

事業所： 営業・サポートネットワーク：全国35拠点（2013年3月現在）

開発拠点： 札幌、東京、福岡：全国3拠点（2013年3月現在）

URL： <http://www.broadleaf.co.jp/>

■ 事業の特徴とビジネスモデル

安定的且つ圧倒的業界シェアの業務ITシステム

- 自動車アフターマーケットにて圧倒的なプレゼンスを持つトップ企業、売上の中心はリプレイスによるシステム販売であり、システムサポートを含め安定的に推移

強固な顧客基盤を活かし成長分野でサービス収益を拡大

- 自動車アフターマーケットのバリューチェーン上の取引を、ネットワークで繋ぐことで、商取引を効率化する収益性の高いネットワークサービスが成長を牽引
- 環境意識の高まりにより、今後も成長が見込まれる自動車リサイクル部品市場において、マーケットプレイスを展開、関連サービスは拡大中

更に新業において産業プラットフォームの拡大を目指す

- 自動車アフターマーケットにおけるバリューチェーン上のネットワーク基盤を拡大すると共に、膨大なデータベースを活用した新たな付加価値サービスの提供により、自動車アフターマーケットに構築した産業プラットフォームによる収益の拡大を目指す

お客様の経営課題と真剣に向き合い、事業創造に貢献するパートナーになります。

■ 主要提供製品

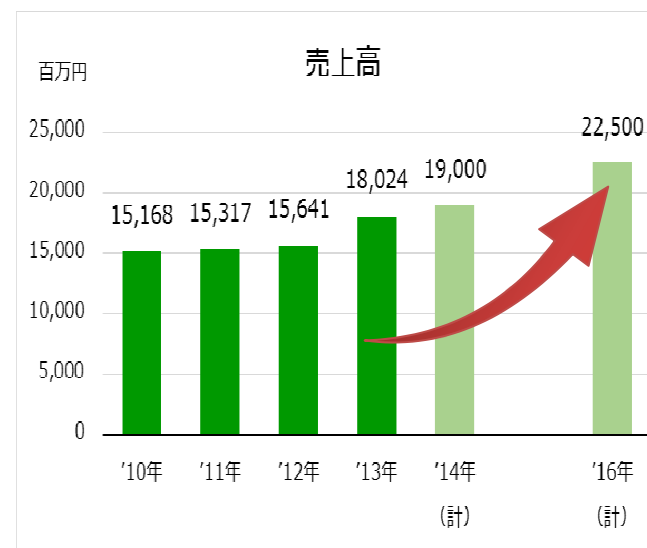
自動車アフターマーケット向け業務用システム



自動車リサイクル部品マーケットプレイス



■ 業績推移（売上高）



②自動車トレーサビリティ・サービス

概要

- ・中古車購入時に、自動車の過去のオーナー数や事故・整備履歴等の車両の履歴情報を提供し、見た目では判断できない車両情報を“見える化”するサービスを創出
- ・購入時の信頼性向上（買主）・下取り価格の上昇（売主）により、買主・売主双方にメリット

効果

- ・自動車流通市場の活性化
- ・自動車取引の安全・安心向上

主な課題

情報の収集・管理体制の
検討・構築等

本日の話題

右図：米国事例
(CAR FAX社 HP)

インターネットを通じて、
自動車の過去のオーナー数、
事故・整備履歴などを有償で
提供するサービス



CARFAX CARFAX® Vehicle History Report™
An independent company established in 1990

Vehicle Information:
2000 CHEVROLET K1500 SUBURBAN
VIN: [REDACTED]
4 DOOR WAGON/SPORT UTILITY
2.3L V6 MPI ONLY
4 WHEEL DRIVE
Standard Equipment / Safety Options:

- ⚠ Structural damage reported
- ⚠ Accident / Damage reported
- 👤 2 Previous owners
- 🔧 9 Service records available
- 📊 167,701 Last reported odometer reading
- 💰 \$540 Below retail book value

出典：各社ホームページ、SAS Institute社資料より国土交通省作成

わが国の自動車トレーサビリティ・サービスの必要性と課題

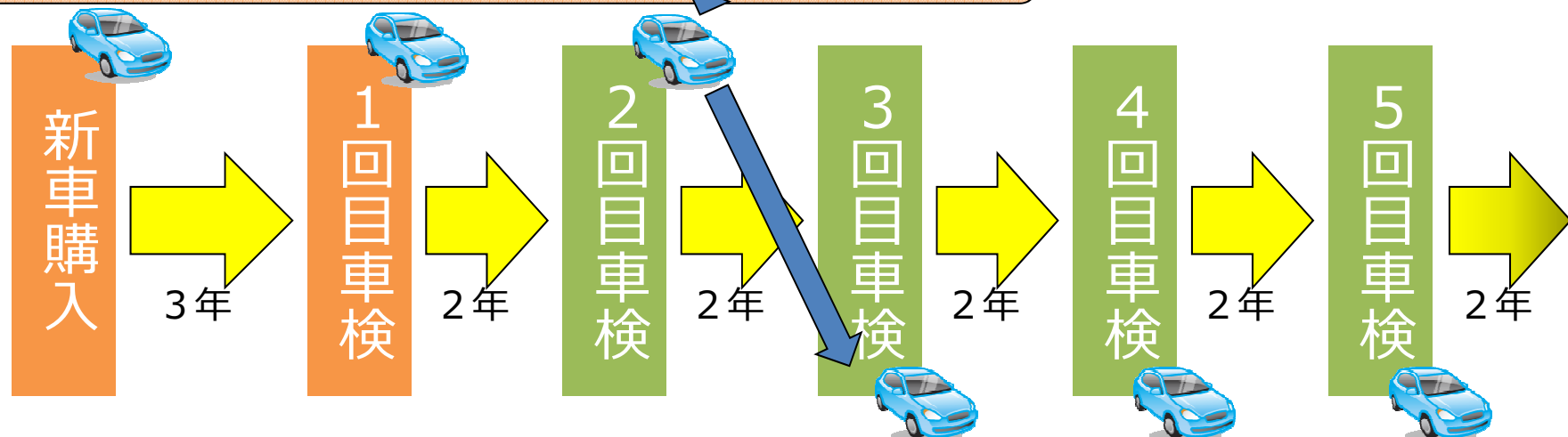
新車販売カーディーラー様

新車販売と同時に販売されるメンテナンスパックにて36ヶ月程度のフリーメンテナンス

営業努力
⇒車検より**買替**促進

認識

- 自動車の使用年数は伸びている
- 履歴情報は車台番号に紐づいて管理されるべき

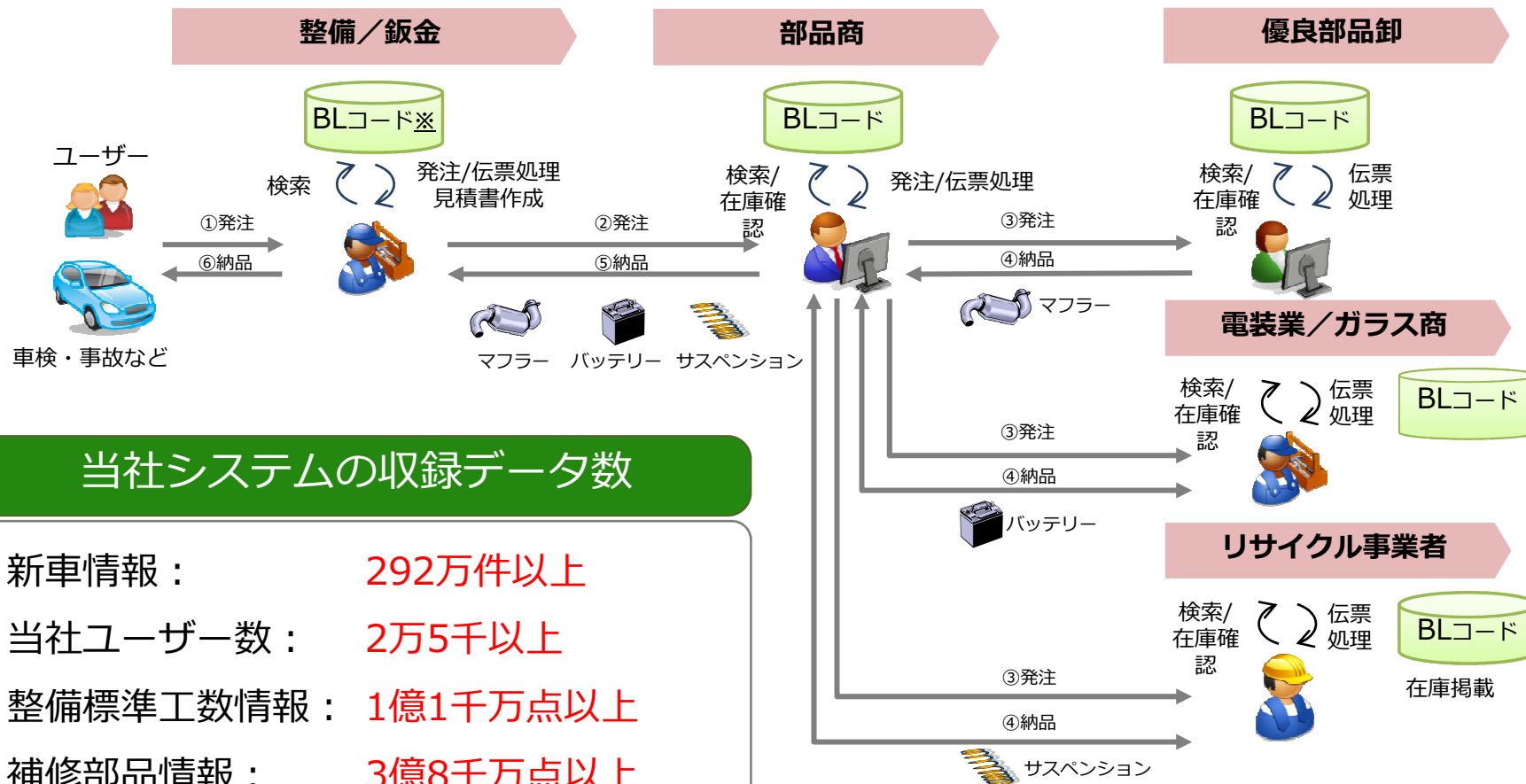


整備工場などアフターマーケットプレイヤー様

課題

- 車両に紐づく履歴情報を統合化して管理する受け皿が無い
- (特に) ディーラーの手を離れた自動車の整備・事故履歴などの情報が散逸

長年蓄積したデータベース、ユーザーである整備工場 のネットワークの広範さをカバー



当社システムの収録データ数

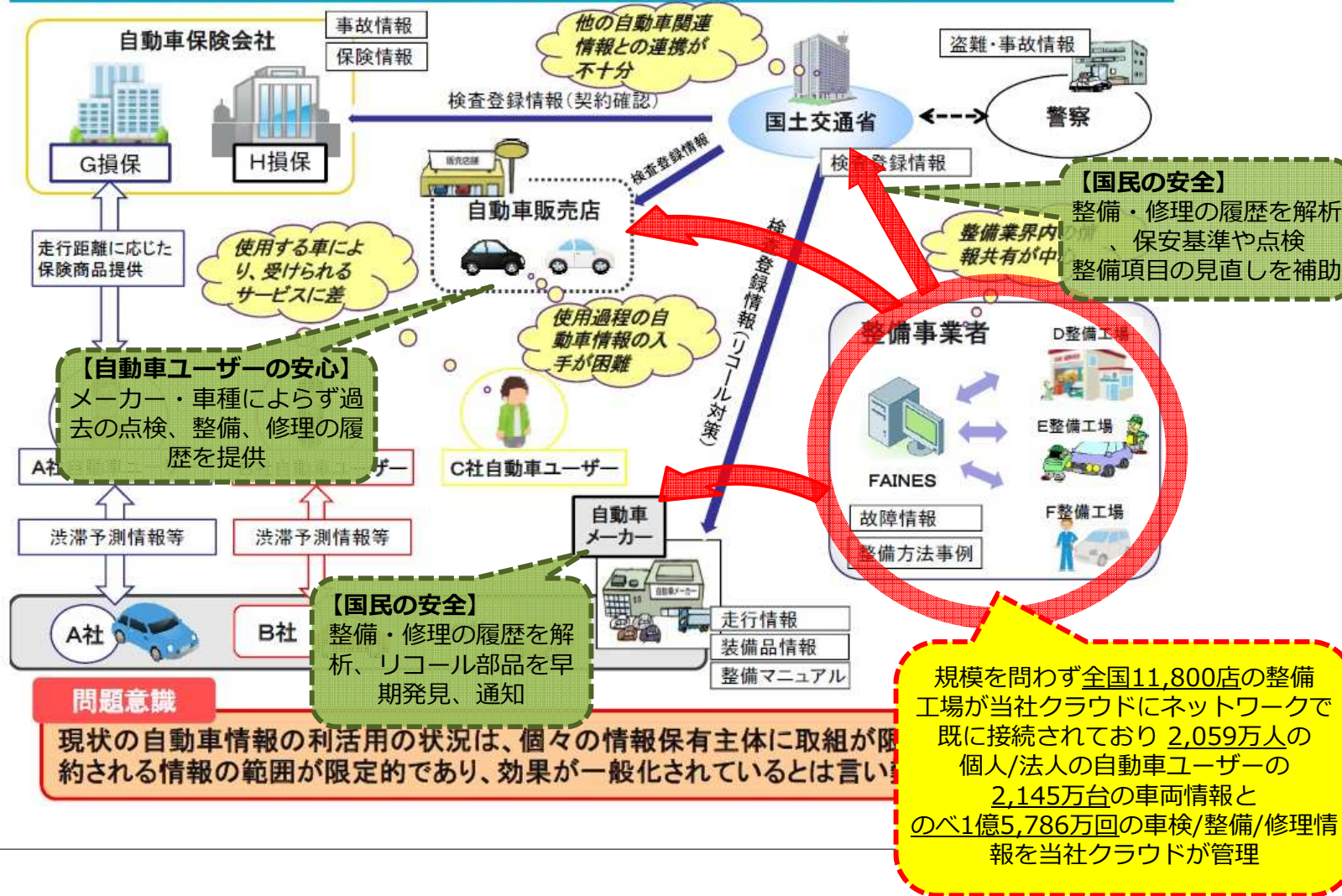
- 新車情報： **292万件以上**
- 当社ユーザー数： **2万5千以上**
- 整備標準工数情報： **1億1千万点以上**
- 補修部品情報： **3億8千万点以上**
- 消耗品情報： **320万点以上**

注釈
 ※ BLコード…当社が30年に亘り蓄積したデータベースにおけるオリジナル部品コード。業界標準と認識されている

ブロードリーフが提供できる価値

3. 自動車関連情報の利活用状況(7) 我が国の自動車関連情報の利活用俯瞰図(問題意識)

国土交通省



日本版CarFax実現に向けてあるべき仕組みと具備すべき情報

3. 自動車関連情報の利活用状況(7)

我が国の自動車関連情報の利活用俯瞰図(問題)



自動車履歴情報クラウドを実現するために必要な情報

- 警察の事故情報 (出動情報, 事故種別)
- 損保会社の利用記録 (事故情報)
- メーカーのDTC (故障診断コード) の開示
- その他 (車検証QRのフォーマット情報)

まとめ&要望

② 自動車トレーサビリティ・サービス

■ マーケット活性化

結果的に、新車を含めた自動車流通市場の更なる活性化が期待できる

(売り手側) 適時適切な整備を受けていると認証される車は売却価格が高く設定される

(買い手側) 履歴がしっかり存在している車は少々高くても安心できる

■ 要望

- (国交省様) 予防整備の積極的な推進による安全度の高い交通体系を低コストで維持するために必要な措置としてトレーサビリティ・サービスの受け皿の整備・体系化をお願いしたい
- (財務省、都道府県様) 定期的な車両検査制度の維持により確実かつ低コストな徴税制度の実現を目指してトレーサビリティ・サービスの活用をお願いしたい

また、当社としては上記の他の案件についても促進をお願いしたい

① テレマティクス等を利用した安全運転促進保険

- 単に市場の伸びだけではなく、個人情報保護に一定の配慮をした上で、事故情報を整備記録等と統合するなどの付加価値サービスが可能となるよう推進いただきたい

③ 安全OBDに対応したスキャンツールの共通化

- 当社整備工場向けパッケージにもスキャンツールオプションを実装しているが、標準化が図られていないため開発コストが余計にかかっているため、標準化を推進いただきたい

④ 検査と整備の相関分析等を通じた検査・整備の高度化・効率化

- 当社の施策「街のカーウンセラー」はマーケティング施策として指定・認証整備工場の事業の後押しをしているが、より安全度の高い交通体系を維持発展していくためには②ならびにこの項目の推進をお願いしたい



BroadLeaf

「感謝と喜び」

～それが、お客様との約束です～

ご検討の程
宜しくお願ひ申し上げます。

本件、内容に関するお問い合わせは下記まで
お願ひ致します。

株式会社ブロードリーフ

執行役員 開発グループ長

安田 真和 masakazu.yasuda@broadleaf.co.jp

執行役員

入倉 進 susumu.irikura@broadleaf.co.jp

経営企画室 新規事業開発課長

佐治 公敏 kimitoshi.saji@broadleaf.co.jp

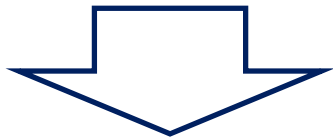
経営企画室 新規事業開発課 ディレクター

江藤 英志 eiji.eto@broadleaf.co.jp

ロータス九州株式会社における
OBD診断データおよび整備履歴データの
クラウド管理の取組みについて

ロータス九州株式会社
上田 雅彦

Mobile Scan Tool
LOSSO-9
Lotus Smart OBD Kyushu



C-MAP
Car Maintenance App Package“シーマップ”



ロータス九州株式会社

全日本ロータス同友会九州ブロック8支部法人が出資して設立。

所在地:福岡県福岡市

原則としてロータス同友1626社(2014年8月31日現在)を対象にサービスを提供。

2007年4月 オリジナルコードリーダーLOSSO-9開発

国内全メーカーのOBD読取・消去対応

ディスプレイレスとし、携帯電話・PCで車両情報の入力、
診断結果の閲覧(3Gモジュール内蔵)

PC経由で診断報告書を出力

2008年10月 LOSSO-9商用サービス開始

2009年10月 国際自動車通信技術展(ATTT)優秀賞を受賞

2010年3月 MCPCアワード2010にて、モバイル中小企業賞と
審査委員長特別賞を受賞

2013年9月 C-MAP開発

スキャンツール標準仕様要件を備えたデンソーDST-iと
androidタブレット(wifiモデル)を使用

2014年2月 C-MAP商用サービス開始

データ収集方法



データ収集方法

- ①車検証記載のQRコードを読み取り、車両情報を取得（走行距離のみ手入力）
- ②汎用スキャンツールDST-iで車載ECUをALLスキャン
- ③DST-iとタブレットをbluetooth接続しスキャン結果を取得。
- ④要整備個所のBefore写真を撮影、整備提案コメント、部品消耗度を入力
- ⑤タブレットからwifi経由でクラウドサーバへデータ送信。
- ⑥専用WEBサイトでOBD診断書、部品交換提案書を出力。

～お客様へ要整備個所の説明、商談、整備実施～

- ⑦部品交換実施個所のAfter写真を撮影しクラウドサーバへデータ送信
- ⑧専用WEBサイトで部品交換報告書を出力

OBD診断結果だけでなく、整備個所の写真(before・after)をクラウドサーバに蓄積しているところが特徴。型式・走行距離に紐づいた部品交換のデータベースを構築しています。

タブレットでの整備提案個所入力は分解整備記録簿に準拠。(記録簿の電子化に対応可能)

サービス開始当初からOBD診断の有償化を推進。日常業務とすることでデータ量を確保。

データの種類と量

※画像はサンプルです。

故障診断日時	メーカー名	車名	初度登録元号	初度登録年	初度登録月	エンジン型式	型式	車体番号	型式指定番号	類別区分番号	走行距離	ecu名	エラーコード	エラーメッセージ
2014/1/15	DAIHATSU	アトレーワゴン	平成	24	8	KF-DET	ABA-S321G		15878	7	31,552	ABS	C0205	車輪速センサ フロント左 :断線/短絡
2014/1/15	DAIHATSU	アトレーワゴン	平成	24	8	KF-DET	ABA-S321G		15878	7	31,552	ABS	C1241	電源 : 電源低電圧。電源 : 電源高電圧
2014/1/15	DAIHATSU	アトレーワゴン	平成	24	8	KF-DET	ABA-S321G		15878	7	31,552	Engine		
2014/2/5	SUZUKI	アルト	平成	16	10	K6A	CBA-HA24S		12663	6	61,347	ABS		
2014/2/5	SUZUKI	アルト	平成	16	10	K6A	CBA-HA24S		12663	6	61,347	AirBag	B1341	D席ラップアウトプリテン系統断線
2014/2/5	SUZUKI	アルト	平成	16	10	K6A	CBA-HA24S		12663	6	61,347	Engine(&AT)		
2014/4/12	HONDA	シビック	平成	25	3	D15B	LA-EU1		10732	4	41,258	AT		
2014/4/12	HONDA	シビック	平成	25	3	D15B	LA-EU1		10732	4	41,258	Engine	P1166	O2センサヒータ回路故障
2014/4/12	HONDA	シビック	平成	25	3	D15B	LA-EU1		10732	4	41,258	Engine	P1167	O2センサヒータ機能異常
2014/4/22	TOYOTA	ヴェッツ	平成	23	5	1NR-FE	DBA-NSP130		16721	11	61,215	AirBag		
2014/4/22	TOYOTA	ヴェッツ	平成	23	5	1NR-FE	DBA-NSP130		16721	11	61,215	Engine	P1605	ノックコントロール系統
2014/4/22	TOYOTA	ヴェッツ	平成	23	5	1NR-FE	DBA-NSP130		16721	11	61,215	Engine	P1604	始動不良
2014/4/22	TOYOTA	ヴェッツ	平成	23	5	1NR-FE	DBA-NSP130		16721	11	61,215	Engine	P1603	エンスト検出
2014/4/22	TOYOTA	ヴェッツ	平成	23	5	1NR-FE	DBA-NSP130		16721	11	61,215	Engine	P0301	シリンダー1のミスファイアを検知
2014/4/29	DAIHATSU	ムーヴ	平成	25	3	EF-VE	UA-L900S		11122	24	22,111	AirBag	B0101	運転席エアバッグ点火回路:断線
2014/4/29	DAIHATSU	ムーヴ	平成	25	3	EF-VE	UA-L900S		11122	24	22,111	Engine		
2014/5/11	MAZDA	デミオ	平成	24	1	ZJ-VE	UA-DY3W		11765	52	145,459	Engine	P0012	Aカムポジション進角遅れ過大(バンク1)
2014/5/11	MAZDA	デミオ	平成	24	1	ZJ-VE	UA-DY3W		11765	52	145,459	Engine		
2014/5/25	TOYOTA	ヴェッツ	平成	23	5	1NR-FE	DBA-NSP130		16721	11	61,215	ABS	C1201	ブレーキブースターセンサ系統エンジン系統異常
2014/5/25	TOYOTA	b B	平成	20	4	K3-VE	DBA-QNC25		15275	4	33,295	ABS	P1553	修理書をご確認ください
2014/5/25	TOYOTA	b B	平成	20	4	K3-VE	DBA-QNC25		15275	4	33,295	ABS	P0142	O2センサ系統B1S3
2014/5/25	TOYOTA	b B	平成	20	4	K3-VE	DBA-QNC25		15275	4	33,295	AirBag		
2014/6/1	HONDA	フィット	平成	20	3	L13A	DBA-GE6		15974	3	101,513	ABS		
2014/6/1	HONDA	フィット	平成	20	3	L13A	DBA-GE6		15974	3	101,513	Engine	U0131	パワステ・コントロール・モジュール通信異常
2014/6/1	HONDA	フィット	平成	20	3	L13A	DBA-GE6		15974	3	101,513	Engine	U0121	ABSコントロール・モジュール通信異常

保有データ数 222,525件

※2014年8月31日現在

データの活用方法

※画像はサンプルです。

I'm Professional.

車載コンピューター 点検結果

点検実施日	平成26年 08月 27日 15時 56分	点検担当者	大橋
お名前	様	メーカー	スズキ
車名	ワゴンR		
型式	GF-MC21S	車台番号	MC21S-913015
エンジン型式	K6A		
型式指定番号	09203	類別区分	0195
初度登録年月	平成 12 年 - 月		
車検満了日	平成26年9月9日	走行距離	11257km

車載コンピューターの状態

- ・故障情報は検出されませんでした。
- ・安心してお乗り下さい。
- ・今後も定期的な車載コンピューター点検をオススメいたします。

この点検結果は、点検実施時の状態であり、今後の状態を保証するものではありません。

車載コンピューター点検とは!!!

1. 車両の中にはたくさんのコンピューターが存在します。
2. そのコンピューターを点検し、故障情報を調べます。
3. 詳細な情報は今見ている帳票となり確認頂けます。

エンジンオイルやバッテリー交換の目安

車にもコンピューター搭載されており、PCのウィルスチェックのように定期的に点検をすることがオススメです。車のコンピューターには現在の点検情報の他にも、過去の一時的な故障の記録が残っています。

エンジン・エアバック・ABS・ATの目には見えない不具合をチェックして、愛車の健康状態を確認しましょう。

故障コードランキング!!

全国から毎日送られてくる点検情報を統計し、故障コードのランキングを作成しています。このランキングは全国のお客様と同種類の車から報告されているものですので、今内に点検をするのがオススメです!

ワゴンR : GF-MC21S 故障コードランキング (診断対象台数 : 763台)

順位	故障コード	内容
1	P0340	カム角センサ系統異常 : 停止モード以外でGS2端子に一定時間以上信号入力されない
2	C1016	ストップランプスイッチ系統異常 : IG端子電圧正常かつABS非作動時、STS端子の入力が中間レベル
3	P0130	空燃比センサ系統異常 : LR端子が一定時間以上診断上限電圧 (4.67V) 以上又は診断下限電圧

担当者からのコメント

ロータス・ウエダ自動車株式会社
0947-44-0002
福岡県田川市伊田3565-1
TEL:0947-44-0513
ホームページURL:http://www.lotus-ueda.com

点検実施店舗

ロータス・ウエダ自動車株式会社
0947-44-0002
福岡県田川市伊田3565-1
TEL:0947-44-0513
ホームページURL:http://www.lotus-ueda.com

お客様の車両データは製造メーカーの為に製造情報に利用させて頂く場合がございます予めご了承下さい

page 1

Notice of replacement parts
部品交換のお知らせ

お客様名 **ロータス太郎**

お車の情報 今回、点検（整備）を実施させて頂いたお車の情報です

車名 **アルト** 登録番号 **筑豊580あ1430** 走行距離 **89450**

点検の情報 点検（整備）の実施日と、次回点検時期のお知らせです

点検年月日 **平成26.9.11** 点検種別 **一般整備（乗用）** 次回点検年月日 **平成27.9.11**

メモ
エンジンオイルは5,000キロ毎の交換をお勧めしています。オイルフィルターは10,000キロ毎の交換です。

私が、お客様のお車の整備を担当いたしました

経験27年整備士です。

愛車は三菱パジェロ・ロングボディ。こだわりのディーゼルです！

点検整備は私にお任せください。

テスト用

上田自動車（株）

福岡県田川市伊田3565-1
TEL.0947-44-0513

整備フォトレポート お車の現在の状況、整備実施の状況を記録しています

分類	点検項目	部位	交換部品/作業内容
足廻り点検	タイヤの磨耗状況、磨耗率	右/フロント	タイヤ/交換

整備前画像

NaS-1-1

☑

☐

☐

法定交換 要交換 要注意

(お客様へのご提案)
残量が1.4mmです。

このままでは安全基準に適合しないので部品交換が必要です

整備後画像

NaE-1-1

☑

☐

☐

交換 応急処置 未実施

(コメント)
ブリヂストンEX100に交換しました。安心して乗りください。

データの活用方法

TOP 診断情報 車両情報 **データ統計情報** 組織/スマホ・タブレット情報 システム管理 メニュー

データ統計情報：走行距離別統計

メーカー別診断数 月間診断数 週間診断数 車種別診断数 **ECU別統計** 走行距離別統計

集計条件

集計対象組織 システム管理者 配下組織も含めて検索

メーカー トヨタ 車名 -

形式 初度登録年月 年 月

ECU -

作業属性 作業区分 -

集計 クリア

トヨタ///年/月

ECU : ABS▼ AT▼ CVT▼ DSC▼ EFI▼ ESP▼
TRC▼ VDC▼ VSC▼ **エアバッグ▼** エンジン▼ **データダウンロード**

ECU : エアバッグ コード検出件数 : 25件

コード	内容	合計	発生率	走行距離(万km)											
				0→1	1→2	2→3	3→4	4→5	5→6	6→7	7→8	8→9	9→10	10→	不明
B1100	エアバッグECU故障	5	20.00%	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	
B1801	D席前突スクイブオープン	3	12.00%	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
P2345	吸気温度B1信号系統(副線)	3	12.00%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
B0101	D席前突スクイブオープン	2	8.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
B0131	前席R側プリテンションオープン	2	8.00%	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	P席側突スクイブオー														

データの活用方法

■ OBD診断

エラーコード検出ランキング

同型式におけるエラーコード検出ベスト3を掲載

エラーコード検出結果によって3種類の帳票を選択可能に。

①エラーなし

②エラー検出 → 消去成功

③エラー検出 → 消去不可 → 整備提案

他にも、診断証明書、展示中古車掲示用等を用意。

車検入庫前の
要点検個所確認

OBD診断の有償化

予防整備の提案

中古車の品質証明

■ 整備報告書・提案書

交換部品をBefore・After写真入りで説明(クラウド保存)

要交換部品の危険度を3段階表示、整備結果を3段階表示

納車品質の向上

後日整備の提案

■ 専用webサイトでの統計データ閲覧

メーカー、車種毎のエラー検出結果、ランキング等

メーカー別、車名別、ECU別、走行距離別等での

検索が可能

整備アドバイス

中古車納車前整備
の重点ポイント確認

サービス展開にあたっての課題及び克服方法の提案等

■課題

導入コストとランニングコスト

(スキャンツールおよびタブレット、wifi環境整備の費用)

e-jibaiの導入によりIT環境は整備されていますが、wifi環境を整備している事業者は非常に少ないのが現状です。

データ取得

現在の整備業務フローに写真撮影、情報入力等を加えることによる効率低下、あるいは業務フロー変更への抵抗等

データ量

本サービスはロータス全体の取組みではなく、ロータス九州という別法人での取組みであるため100%導入に至っていない。

■克服方法の提案等

スキャンツール導入補助金の対象となっている機種をさらに活用する
本サービス等のクラウドサービスを補助金の対象に加えてほしい。

今後の整備履歴のクラウド管理について

各車両の整備履歴については、事業者毎に保有しているのが現状。整備品質の向上、ユーザーサービスの品質向上、中古車流通のより高度な健全化を目指すうえでは、データの一元化による分析・活用が不可欠と考えます。

現状、我々が保有しているデータはOBD診断履歴、部品交換履歴であり、これに

- ・自動車メーカー、ディーラーが保有する自銘柄車両の整備履歴(消耗部品の交換頻度等)、ウイークポイントのデータベース
- ・部品商が保有する車両型式別の部品発注データベース
- ・他の整備事業が保有しているOBD診断履歴、整備履歴情報
- ・リコール情報

等を連携させることにより、より充実した整備履歴の把握が可能になると考えます。

結果、自動車ユーザーに対して、より正確な情報提供が可能になりますし、整備や購入の際の利便性向上、透明性の向上が実現できます。

自動車関連情報の利活用について

査定協会の業務

平成26年 9 月19日

一般財団法人日本自動車査定協会

一般財団法人日本自動車査定協会

- ・昭和41年6月に通商産業省・運輸省(当時)の許可を得て、財団法人として設立。
- ・平成24年4月に一般財団法人への移行認可、健全な中古車市場の発展と消費者利益の保護を目的とした「**中古自動車査定制度**」の普及に努めている。
- ・査定協会は、全国に52の支所があり、中立・公正をモットーとして事業活動を行っている。
- ・査定協会では、この制度が自動車業界に定着し、自動車取引の流通秩序確立に寄与できるよう、その運営、管理に当たっている。

〈査定協会の主な業務〉

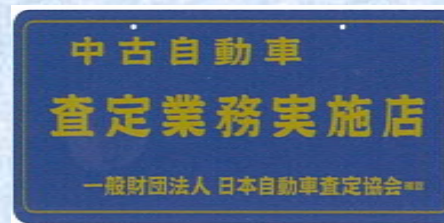
- ・中古自動車査定士技能検定試験
- ・依頼査定
- ・車両状態証明事業
- ・カーチェックス(査定総合支援システム)
- ・輸出中古自動車の検査
- ・出版事業
- ・JAAI-Net

中古自動車査定士技能検定試験

●中古自動車査定士技能検定試験の実施

査定士とは中古自動車査定制度にもとづいて、中古車の査定を行う資格を持った人のことをいいます。当協会が実施する中古自動車査定士技能検定試験に合格し、登録されている方が全国で13万人を超え、自動車販売店で活躍しています。

- 小型車: 毎年6月及び12月全国一斉実施
- 大型車: 毎年6月全国一斉実施



現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
中古自動車査定士 ・氏名、住所、所属会社、生年月日、性別、整備士 等 査定業務実施店 ・名称、所在地 等	中古自動車査定士 資格所持者約46万人 内登録者約13万1千人 査定業務実施店 約7,800社 (平成26年3月31日現在)	毎年、6月及び12月の 検定試験開催時 3年に1度の更新研修時

依頼査定

以下のような各種目的の評価、証明を行っています。

●事故減価額証明

事故による評価損を「事故減価額証明書」又は「外板価値減価額証明書」で証明

●資産評価

企業の合併、解散等の際に車の資産価値を「査定証」で証明

●個人間売買

個人から車を購入する場合、個人に車を売却する場合に、その車の客観的な価格を算出し「査定証」で証明

●相続車両の評価

相続等に関する車の財産的価値を「査定証」で証明

●車両状態確認証明

修復歴の有無や外装の状態を「車両状態確認証明書」で証明

現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
査定協会が行った依頼査定 ・使用者、所有者、車名、 車台番号、初度登録、評価額 等	平成25年度 37,722台 (前年比 81.6%)	協会支所職員による査定報告

中古車を購入しようとする消費者と販売店双方の信頼性向上を目的に販売店展示車両の車両状態を的確に表示しています。



車両状態証明事業(V-CON)は、一般社団法人自動車公正取引協議会の監修を受けています。

現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
<p>車両状態証明事業 (V-CON)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の状態(傷等)、車名、車台番号、修復歴の有無、評価点 等 	<p>平成25年度 78,137台 (前年比124.9%)</p>	<p>協会職員及び販売店認定検査員による検査証明</p>

Car-check's(カーチェックス) 査定総合支援システム

査定協会の中古自動車査定基準に則り、迅速で正確かつ適正な査定が可能なシステム。
また、価格決定部署との連携により、スピーディな商談対応が可能。



現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
車両の査定データ ・車両状態の内容全般 傷、凹み等	平成25年度 約170万件 現在、 800社20万件/月強	各販売店の査定士が入力

輸出中古自動車の検査

輸出中古自動車の機能と内外装について検査し、「輸出中古自動車検査済み証明書」を 発行しています。

- 仕向国
- ・タンザニア
 - ・モーリシャス
 - ・スリランカ
 - ・バングラデシュ
 - ・ブルネイ
 - ・その他

Certificate No. _____
Date of Issue _____

CERTIFICATE OF EXPORT INSPECTION

We hereby certify that the undermentioned motor vehicle was inspected of roadworthiness and approved for export in compliance with the inspection standard provisions provided by Japan Auto Appraisal Institute.

Make _____ Model _____
Engine Capacity(cc rating) _____ CC
Year of First Registration _____
Chassis Number _____
Engine Number or Model _____
Inspected Mileage (Odometer Reading) _____ km
Inspected Date _____
Remarks: _____

Note 1: No responsibility can be taken for alteration made to vehicle after this inspection.
Note 2: No responsibility can be assumed by this institute for any disputes, repairs, etc. caused by transaction involving the certified used motor vehicle as above-mentioned.

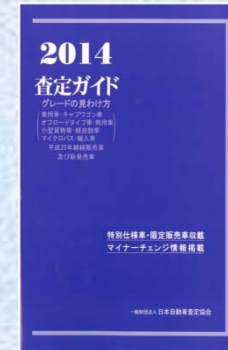
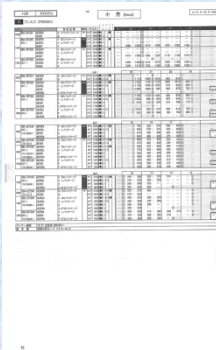
JAPAN AUTO APPRAISAL INSTITUTE Branch _____
Director of Inspection Dept. _____

NO D 080000

現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
輸出中古自動車の検査 ・車名、車台番号、走行キロ数、排気量、検査月日 等	平成25年度 13,094台 (前年比127.6%)	協会職員による検査報告

出版事業

- シルバーブック(小売価格を掲載)／毎月1回発行
- イエローブック(卸売価格を掲載)／毎月1回発行
- 査定ガイド(車種・グレードを見分けるための情報を掲載)



現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
<p>シルバーブック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小売価格、認定型式、通称型式、新車価格、装備品 等 <p>イエローブック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卸売価格、認定型式、通称型式、新車価格、装備品 等 	<p>販売実績集計 約40～50万件/年</p>	<p>販売店⇒支所</p>
<p>査定ガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型式指定番号、類別区分番号による車両のグレード、装備品等 		<p>取得税関係資料+カタログ等</p>

最新の中古車情報をWeb上で迅速に提供

●車種(グレード)の検索

自動車検証に記載の型式指定番号、類別区分番号から車種(グレード)や装備品の情報が即時に判断できる。

●中古車価格の検索

最新の中古車価格情報を届ける。

年式・車名・グレード別に中古車小売価格、卸売価格を提供。



現在保有している情報の種類	データ量	収集方法
<p>車両装備情報 中古車小売価格 中古車卸売価格</p>	<p>約30万件(類別区分)</p>	<p>自工会からのデータ提供 + カタログ</p>

査定協会に関わるものとして、

中間とりまとめの重点テーマ ⇒ 「自動車トレーサビリティ・サービス」

②自動車トレーサビリティ・サービス

概要

- ・中古車購入時に、自動車の過去のオーナー数や事故・整備履歴等の車両の履歴情報を提供し、見た目では判断できない車両情報を“見える化”するサービスを創出
- ・購入時の信頼性向上（買主）・下取り価格の上昇（売主）により、買主・売主双方にメリット

効果

- ・自動車流通市場の活性化
- ・自動車取引の安全・安心向上

主な課題

情報の収集・管理体制の
検討・構築等

右図：米国事例
(CAR FAX社 HP)

インターネットを通じて、自動車の過去のオーナー数、事故・整備履歴などを有償で提供するサービス

CARFAX CARFAX® Vehicle History Report™ US \$39.99
An independent company established in 1986

Vehicle Information:
2003 CHEVROLET K1500 SUBURBAN
VIN: 1GNEE13K032000000
4 DOOR WAGON/SPORT UTILITY
5.3L V8 MPI OHV
4 WHEEL DRIVE
Standard Equipment | Safety Options

⚠️	Structural damage reported
⚠️	Accident / Damage reported
👤	2 Previous owners
🔧	9 Service records available
📊	167,701 Last reported odometer reading
💰	\$540 Below retail book value

出典：各社ホームページ、SAS Institute社資料より国土交通省作成

◇現在の利活用状況

- ・査定協会の支所で行った査定車の支所間での情報共有
- ・輸出検査済証明書内容の仕向国政府への情報提供(偽造防止)

◇サービス展開にあたって

○走行距離数、修復歴などは、査定価格及び車両状態の証明、輸出中古自動車の売買流通に大きく関わる。

この様なことが、走行距離の改ざん、修復歴のごまかし等に繋がっています。

○走行距離数の確認

・テレマティクス等を利用した確認

メーカー系のリース会社では、電気自動車のリース契約と同時に車載器利用契約を一緒に行ないテレマティクスにて運行データを受信しています。

このようにして、バッテリーの充電特性(急速充電が多い…)や走行距離数等の情報を収集をしています。

・自動車検査証に掲載される車検時走行キロ

※乗用車の場合、初回車検時3年であり、車検検査直前でメーター改ざんを行うケースもあります。

このことから、時間的間隔が少ない情報確認方法が必要となるのではないのでしょうか。

(例えば、ガソリンスタンドにおいての給油時等)

◇サービス展開にあたって

○修復歴の確認

- ・自動車検査証上のQRコードを読み込み、通信により現時点での修理歴、走行距離数、レンタカー歴等の情報が欲しい。

※修理歴から修復歴を導き出すことも考えられます。

修理工場等で修理を行った場合の集約体制の整備が必要になります。

○個人情報の取り扱い

- ・査定協会は、個人情報取扱事業者となりますが、今後「情報の利活用」となりますと現在の個人情報の利用目的の特定(第15条)、適正な取得(第18条)、第三者提供の制限(第23条)等明確な(判り易い)整備が必要であると考えている。

例えば、

登録事項等証明書(道路運送車両法第22条)の取得では、

何人も、国土交通大臣に対し、登録事項その他の自動車登録ファイルに記載されている事項を証明した書面の交付を請求することができる。

など、

この場合、誰でもが個人情報の適正な取得とすることができるが、取得後は、個々において個人情報の取り扱いとしており第三者提供の制限もしています。